

SOKYO  
ATSUMI



シルヴィ・オーヴレ、2022 滋賀県立陶芸の森(滋賀県、甲賀市)の登窯にて © Sylvie Auvray Photo : Yuji Imamura

# シルヴィ・オーヴレ マーガレット / Marguerites

内覧会：2022年12月2日(金) 13:00 - 19:00  
作家在廊予定

2022年12月3日(土)- 2023年1月19日(木)  
冬季休廊：12月25日(日)- 1月5日(木)

SOKYO ATSUMI  
140-0002 東京都品川区東品川1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階 #304  
開廊時間：11:00 - 18:00(火 - 木) 11:00 - 19:00(金・土)  
休廊日：日・月

SOKYO ATSUMI  
140-0002 東京都品川区東品川1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階  
+ 81 (0)80 7591 5212

# SOKYO ATSUMI

## プレスリリース

東京—SOKYO ATSUMIではパリ在住の美術家、シルヴィ・オーヴレの個展「マーガレット/Marguerites」を開催いたします。本展覧会では今秋より滋賀県立陶芸の森(滋賀県、甲賀市)でのアーティスト・イン・レジデンスにて制作したセラミックの最新作とパリで制作した大型ペインティング3点を展示いたします。

オーヴレは絵画からキャリアをスタートさせ、その後は彫刻、セラミックと表現の幅を広げました。これまで、パリ市立近代美術館(パリ)、ガゴシアン・ギャラリー(ジュネーヴ)、ダイチ・プロジェクト(ロサンゼルス)での展示など国内外の権威ある美術館、ギャラリーで展示し、高い評価を得てきました。また、ドナルド・ジャッドが設立したチナティ財団のアーティスト・イン・レジデンス(マーファ、テキサス)に参加し、アメリカを代表する彫刻家であるジョン・チェンバレンの作品と共に展覧会を開催するなど、常に新しい試みに挑戦しています。

2021年の艸居(京都)で開催した日本での初個展「野獣と箒」では、作家が継続して取り組んでいる箒をモチーフとした作品やドローイングを中心に発表しました。「野獣と箒」は、日常的に使われている箒やオーヴレが日常生活を通して美しいと感じた身近な木々などの素材とセラミックを組み合わせ、ピノキオなどの紙芝居、コンメディア・デッラルテなどのキャラクターを引用するなど、オーヴレらしい知的でユーモア溢れる展覧会でした。

展覧会タイトルの「マーガレット/Marguerites」は今回の日本滞在においてオーヴレがパリから持参したアンティークのマーガレットの花形をしたお皿に起源をなしています。マーガレットの形をした大皿や、花柄を引用したオブジェなど、陶芸の森の窯で焼成され、信楽焼という窯場の歴史や表情をとらえた本展ならではの面白さを伝えています。

本展の核をなすセラミック作品《野獣/Beast》は、彼女が長年大切に身近な存在として抱いている想像上の動物がモチーフとなっています。恐ろしさよりも愛らしく少しおどけた野獣は、イマジナリーフレンドのような存在であるとオーヴレは述べます。

「私の作るセラミックの野獣は、幼少時代に手から離さずずっと持っていたぬいぐるみから派生しているのです。」

オーヴレは長年《野獣/Beast》を発表してきましたが、本展では初の試みとなる180cm超の大型オブジェを制作し迫力溢れる展示となっております。野獣シリーズの他にも、壺やマラカスを連想させるセラミックと木を組み合わせた新作も展示いたします。陶芸のコントロールしきれない「火に委ねる」という行為を作品の要素として取り入れるオーヴレの造形表現は、不思議なフォルムや表現の中に神秘性を帯びています。

抽象的な陶芸を先駆したピーター・ヴォーコス、ベティ・ウッドマンを含んだキュレーション展「Fire and Clay」に参加するなど、オーヴレもその系譜を汲むアーティストの一人であると考えられています。世界でも注目を集めるセラミックの現代アートを牽引するオーヴレの最新作をこの機会にどうぞご覧ください。

# SOKYO ATSUMI

## 作家略歴

シルヴィ・オーヴレは 1974年生まれ。現在パリに在住。1993年にモンペリエ芸術大学(フランス)を卒業、1996年にシティ・アンド・ギルド・オブ・ロンドン・アーツ・スクール(イギリス)にて学士を取得。主なコレクションには パリ市立近代美術館(パリ・フランス)、Collection du Centre National des Arts Plastiques(パリ・フランス)、総合文化センター「MÉCA」(ボルドー・フランス)などほか多数。

主な個展には「Rings」ギャラリー・フランチェスカ・ピア(チューリッヒ・スイス) 2015年、「John's feet」チェンバレン・ビルディング、チナティ財団(マーファ・テキサス、アメリカ) 2016年、「Les Cambuses」ギャラリー・ローラン・ゴダン(パリ・フランス) 2019年、「Aux foyers」モリー・サバタ、アルベール・グレース財団(サブロン・フランス) 2020年など。「野獣と箒」艸居(京都) 2021年を開催。

近年のグループ展には、「Nouveau Festival」ザビエル・ドゥルー、パントゥール・パルレ(パリ・フランス) 2009年、「Medusa」パリ市立近代美術館(パリ・フランス) 2017年、「Citoyennes paradoxales」FRAC シャンパーニュ・アルデンヌ・コレクション、トー宮殿(ランス・フランス) 2018年、「Fire and Clay」ガゴシアン・ギャラリー(ジュネーヴ・スイス) 2018年、「La Musée」コミッションナー: アザド・アシフォヴィッチ、ギャラリー・イタリアンヌ(パリ・フランス) 2019年、「All of Them Witches」ジェフリー・ダイチ・ギャラリー(ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ) 2020年 など。アーティスト・イン・レジデンスにチナティ財団(マーファ・テキサス・アメリカ) 2016年、セラミック・アーツ・プログラム、カリフォルニア州立大学、ロングビーチ校(カリフォルニア・アメリカ) 2017年と2019年。

## 出品作品(一部)



シルヴィ・オーヴレ《Cobalt》  
2022、陶、H127×W45×D45cm



シルヴィ・オーヴレ《EchoSan》  
2022、陶、H83×W43×D45cm

# SOKYO ATSUMI



シルヴィ・オーヴレ《Flower plate》  
2022、陶、H10×W59×D60cm



シルヴィ・オーヴレ《Small fire》  
2022、段ボールにアクリル絵具、  
オイルスティック、H49.5×35cm

是非、貴社・貴誌にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。  
掲載、写真の貸出などご質問がございましたら下記にご連絡頂けますと幸いです。

プレス担当(東京): 金田幸  
〒140-0002 東京都品川区東品川1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階 #304  
[sokyoAtsumi@gallery-sokyo.jp](mailto:sokyoAtsumi@gallery-sokyo.jp)  
Tel:080-7591-5212